

に開く。の経済的意義を究むがすべからばその視野は たるを更れない。改口内閣の裏面に透りたてた自由主義の念地は、我が国の時勢に非ずして、欧州大戦後十年、殊に中政新閣に於ける資本主義化と共に浮現し来た一見進んでゐる。と本大連法のべりに懐柔を、板野の代りに利益を置かうとするものがある。西康的には血に塗れた手に手袋を、国内的には浮遊の斗争を覆被せんとするもの精神である。改口内閣の自由主義を田中内閣の専制主義 （自由主義の人はこの子も） 視しそれによりたるべき民衆の救済を免れたいものは、改切りである。

二、国民党の陣営

普通の実地は国民党の陣営に少なからざる衝撃を蒙つた。彼等は従つてその酒板の上に欺瞞を塗り立てた。然し「國かくして危かくさず」——その有する本質は裏口から覗くことに依つて判りと見究めることが出来る。

(1) 政友會

政友會は地主と産業資本家の政友である。多年の専横政治によつて皆い束縛され置かれた。其政治的主眼は日支勤である。然し其経済的進歩に於ては幾々中小工業者、殊に農民層の要求に適合するものがある。改新にこれ等の

政治的進歩は、改新の陣営の一新に依つて政策の更新に依つてみたらう。其の進歩は、ある。民衆は今程々にこれに耳を觸さめであらう。然しその進歩する産業政策は、無産階級の台頭の主張と切り合ふことに注意し、それが果敢を志つてはならぬ。

(2) 民政党

民政党は金融ブローカーの代弁者である。従つてその政治的主眼として、同様のであり、政友會に比してはるかに進歩的である。然しその経済的進歩に於ては、中小工業者、殊に農民層の利害を疎視しつゝある。無産階級と民政党との衝突は即ち即ちである。労働立法その他表層的の社会政策は、労働階級を向上させる好材料たることと注意しなけれはならぬ。